

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	創心会児童発達支援ルーム		
○保護者評価実施期間	2025 年 1 月 20 日 ～ 2025 年 2 月 28 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025 年 1 月 20 日 ～ 2025 年 2 月 10 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 3 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた提供メニュー	利用年齢の幅も大きい事や、利用目的・少し先を見据えた支援を意識してメニューを提供させて頂いております。 利用して下さっている方々の、得意なこと・将来に繋がりそうなことを見極めながら提供するメニューをスタッフで考え、メニューを実行することが意味のある活動・体験・経験に繋げることが出来るような仕組みにさせて頂いております。	スタッフのスキルアップ・ご利用者様の力を伸ばせるために、様々な研修や勉強会に積極的に参加してまいります。継続的に学ぶ機会を設けご利用してくださっている方々の将来をイメージし、自立に向けた支援を提供できるよう意識しながら関わらせて頂きます。
2	社内の他部門との連携	社内には中高生対象の就労準備型の放課後等デイサービスや就労移行支援事業所、就労A/B型事業所、働くことを学べる事業所など、連携して活動できる部門がたくさんあります。また社内には作業療法士や理学療法士等様々なスタッフとも連携を図れることで多職種のスタッフからの支援を受けることが出来ます。	他部門との連携を今以上に密にしていきながら、いろんな視点から物事を判断・評価し、メニュー提供に繋げることが出来るように、ご利用してくださって方々のアセスメントを行い、適切な支援に繋げていきます。
3	保護者様・関係機関との連携・情報共有 保護者支援・相談	心歩笹沖では、毎回しっかり連絡帳を書かせて頂くとともに、送迎時に毎回お話をさせて頂く機会を設けていただいております。連絡帳は学校に持って行っていただき（保護者判断にはなりますが）、担任の先生との情報共有に使わせて頂いております。保護者様も含め担任の先生に、活動内容が見えにくい部分もありますので連絡帳を介して、保護者様・学校・心歩笹沖が一冊の連絡帳を介して連携を図る事が出来ております。 また、小さな事・何でも相談に乗れる体制を整えさせて頂いております。	連絡帳・送迎時のお話だけではお伝え出来ないこともあると感じております。実際の療育時間に保護者の方と一緒に参加できる活動や、動画を使って活動内容を知って頂くことが出来るような仕組みも作っていきたくと考えております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援、保護者会の開催が行えていない	保護者間の交流が出来る支援が十分に作れておりません。 保護者の方の中には、必要と感じてない方もおられますが（他者との交流が苦手）、先輩保護者の方や同じ悩みを感じている方からのお話を聞く機会などは提供していかなくてはいけないと感じております。	ご利用してくださっている方々・保護者様も巻き込んだ活動が何かできないかと考えております。難しい話を聞くだけではなく楽しい活動を介して交流が持てる様な仕組みを計画し実現に繋げていきたいと考えております。保護者の方からのご意見も参考にさせて頂きます。
2	地域の児童発達支援センターや障害児支援事業所との連携 スーパーバイスや助言を受ける機会が持てていない。	心歩笹沖や社内の他事業所との連携は取りやすい環境にありますが中々地域にある期間の方との連携を図る時間を作り出せていないのが現状です。	今後は持って積極的に、関わりを持たせて頂く・助言頂く・事例などの共有などの機会を持たせて頂けるような時間を作っていきたいと考えております。
3	地域に開かれた事業運営	地域の方に心歩笹沖を知っていただく機会が持てていないのが現状です。知っていただく努力が足りていないと思います。	地域の方の中でも、子育てなどに不安を抱えて頂いている方も多くおられると感じております。そんな中で、自分たちが住んでいる地域に相談できる事業所があることを発信できる機会や、事業所の行事等に参加して頂ける機会が作っていただけるよう企画していきたいと考えております。どんな企画がいいのかしっかりアンテナを張って情報収集していきます。